

LEED-NC:評価分野(クレジットカテゴリー)の概要

7つの評価分野(クレジットカテゴリー)		必須条件	加点選択項目
主要な評価分野	(1) Sustainable Sites(SS) 敷地の持続可能性 ヒートアイランドの抑制、雨水流出抑制、生物多様性、脱自動車依存、オープンスペース	1項目	8項目 (MAX26P)
	(2) Water Efficiency(WE) 水利用効率 水道使用削減(節水機器、中水・雨水利用、効率灌水)、敷地内処理(地下浸透、浄化)	1項目	3項目 (MAX10P)
	(3) Energy & Atmosphere(EA) エネルギーと大気 省エネ機器、再生可能エネルギー、計測/診断、コミッショニング(空調・照明・換気など)、フロン不使用	3項目	6項目 (MAX35P)
	(4) Materials & Resources(MR) 原料と資源 ゴミの分別回収、リサイクル材・地場産材優先利用、FSC認証木材、廃棄物管理削減計画	1項目	7項目 (MAX14P)
	(5) Indoor Environmental Quality(EQ) 室内環境品質 快適な室内環境(光、温熱、眺望)、外気量確保、タバコ排煙管理、低VOC材料	2項目	8項目 (MAX15P)
評価ボーナス分野	(6) Innovation in Design(ID) 革新的なデザイン	なし	2項目 (MAX6P)
	(7) Regional Priority Credits 地域別優先クレジット	なし	1項目 (MAX4P)
合計		8項目	35項目 (MAX110P)

出典:U.S. Green Building Council 資料を基にTOTOが一部編集

建物と敷地選定に関わるサステイナブルな取り組みを総合的に評価するシステム
 評価5分野の必須8項目を全て満足できていることがLEED認証の前提条件
 主要評価MAX 100p＋ボーナス評価MAX 10P＝MAX 110p (加点方式得点制)

LEED-NC:TOTOが貢献できる評価分野(クレジットカテゴリー)

7つの評価カテゴリー			必須条件	加点選択項目
主要な評価分野	(1) Sustainable Sites(SS) 敷地の持続可能性 ヒートアイランドの抑制、雨水流出抑制、生物多様性、脱自動車依存、オープンスペース		1項目	8項目 (26P)
	(2) Water Efficiency(WE) 水利用効率 水道使用削減(節水機器、中水・雨水利用、効率灌水)、敷地内処理(地下浸透、浄化)		1項目	3項目 (10P)
	(3) Energy & Atmosphere(EA) エネルギーと大気 省エネ機器、再生可能エネルギー、計測/診断、コミッショニング(空調・照明・換気など)、フロン不使用		3項目	6項目 (35P)
	(4) Materials & Resources(MR) 原料と資源 ゴミの分別回収、リサイクル材・地場産材優先利用、FSC認証木材、廃棄物管理削減計画		1項目	7項目 (14P)
	(5) Indoor Environmental Quality(EQ) 室内環境品質 快適な室内環境(光、温熱、眺望)、外気量確保、タバコ排煙管理、低VOC材料		2項目	8項目 (15P)
ボーナス 評価分野	(6) Innovation in Design(ID) 革新的なデザイン		なし	2項目 (6P)
	(7) Regional Priority Credits 地域別優先クレジット		なし	1項目 (4P)
合計			8項目	35項目 (110P)

出典:U.S. Green Building Council ※資料を基にTOTOが一部編集

主要評価2分野で、性能・技術が高く評価される場合、更なるボーナスポイント取得期待
 (6)“Innovation in Design(ID)革新的なデザイン”と認められた場合
 (7)“Regional Priority Credits地域別優先クレジット”で日本の選定項目に該当する取り組み